

ぶたは人間である

▶ 2024. 1. 17 (水)

生徒 A 子がブタダ大学のソクラブタ教授の哲学の授業を受けています。

ソクラブタ：「いいですか、
論理のお勉強ですよ。」

生徒 A 子：「りんり、ですか。」

ソクラブタ：「んでねえ！
ロンリ！
あなたのは、”倫理”でしょうが…」

生徒 A 子：「似たようなものでしょうが！」

ソクラブタ：「いや、いや、
ぜ～んぜん、ちがうのっ！」

生徒 A 子：「ま、いいけど。
先、いけや。」

ソクラブタ：「う～っ…」
しばし、時は無為に流れ…

ソクラブタ：「ま、いか…
いくよっ！」

生徒 A 子：「どうぞ。」

ソクラブタ：「……
 $a = c$ かつ $b = c$ のとき、 $a = b$ です。」

生徒 A 子：「そだよ、
そんなの、あたりまえじゃん。」

ソクラブタ：「……
では、ぶた＝動物かつ人間＝動物のときはどうなる？」

生徒 A 子：「そんなのおなじだがに！
ぶた＝人間にきまっておるが…」

ソクラブタ：「え！？
ぶたって、人間なの？
しらなかったなあ…」

生徒 A 子：「…??？」

じゃんじゃん！